



平成 24 年 10 月 29 日

各 位

会社名 株式会社北洋銀行
(旧 株式会社札幌北洋ホールディングス)
(コード番号 8524 東証第 1 部・札証)

平成 25 年 3 月期第 2 四半期(中間期)の業績概要(速報値)について

札幌北洋グループの平成 25 年 3 月期第 2 四半期(中間期)業績の概要について、現時点における見通し(速報値)を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期(中間期)の業績概要(速報値)

- ・札幌北洋グループ連結の「コア業務純益」は 177 億円(前年比 2 億円増加、中間期予想比 7 億円減少)の見通し。株式の減損処理等に伴い「経常利益」は 98 億円(前年比 134 億円減少、中間期予想比 15 億円減少)、「中間純利益」は 69 億円(前年比 105 億円減少、中間期予想比 7 億円減少)となる見通し。
- ・北洋銀行の「資金量末残」は 6 兆 9,553 億円(前年比 1,696 億円増加)の見通し。
- ・北洋銀行の「貸出金末残」は 5 兆 5,614 億円(前年比 3,278 億円増加)の見通し。
- ・北洋銀行の「金融再生法開示債権」は 1,728 億円(前年比 64 億円減少)の見通し。
「開示債権比率(部分直接償却後)」は 2.37%(前年比 0.24 ポイント改善)の見通し。
- ・北洋銀行の「その他有価証券評価損益」は 473 億円(3 月末比 135 億円減少)の見通し。

(単位: 億円)

	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期 (実績)	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期 (速報値)	前年比	中間期 予想比
コア業務純益(連結)	175	177	2	7
経常利益(連結)	232	98	134	15
中間純利益(連結)	174	69	105	7

(単位: 億円)

	平成 23 年 9 月末 (実績)	平成 24 年 9 月末 (速報値)	前年比
資金量末残(北洋銀行)	67,857	69,553	1,696
貸出金末残(北洋銀行)	52,336	55,614	3,278
金融再生法開示債権(北洋銀行)	1,792	1,728	64
(開示債権比率)	(2.61)	(2.37)	(0.24)

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

金融再生法開示債権額は部分直接償却前の金額、開示債権比率は部分直接償却後の比率

(単位: 億円、%)

	平成 24 年 3 月末 (実績)	平成 24 年 9 月末 (速報値)	3 月末比
その他有価証券評価損益(北洋銀行)	608	473	135

2. 損益の概要(札幌北洋グループ連結)

- ・平成 25 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結コア粗利益は 561 億円と前年比 7 億円の減少となる見込み。利回り低下に伴う預貸金収支の減少から資金利益が前年比 1 億円減少したことに加え、団体信用生命保険料等の役務費用増加によって役務取引等利益が前年比 3 億円減少したこと等によるもの。
- ・経常利益は 98 億円で前年比 134 億円の減少となる見込み。一般貸倒引当金の戻入益が減少したことに加え、保有有価証券の減損処理に伴い有価証券等関係損益が前年比 87 億円減少したことを主因とするもの。但し中間期業績予想対比では、信用コストの発生が少なかったこと等から 15 億円の減少にとどまる見通し。
- ・中間純利益は 69 億円と経常利益の減少を主因として前年比 105 億円の減少となる見込み。

【連結】

（単位：億円）

	H23.9 期 （実績）	H24.9 期 （速報値）	前年比	H24.9 （中間期） 業績予想	中間期 予想比
経常収益	855	850	5	811	39
連結コア粗利益	568	561	7	576	15
資金利益	459	458	1		
役務取引等利益	93	90	3		
その他業務利益	15	13	2		
経費（除く臨時処理分）	392	384	8	391	7
連結コア業務純益	175	177	2	184	7
信用コスト	17	26	43	78	52
有価証券等関係損益	31	56	87	0	56
経常利益	232	98	134	113	15
中間純利益	174	69	105	76	7

連結コア粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券関係損益

信用コスト = 貸倒償却引当費用 = 一般貸倒引当金繰入額 + 貸倒損失額

有価証券等関係損益 = 国債等債券関係損益 + 株式等関係損益 + 金銭の信託運用損益

連結コア業務純益 = 連結コア粗利益 - 経費（除く臨時処理分）

【ご参考：北洋銀行】

（単位：億円）

	H23.9 期 （実績）	H24.9 期 （速報値）	前年比	H24.9 （中間期） 業績予想	中間期 予想比
経常収益	716	698	18	665	33
コア業務粗利益	533	531	2	544	13
資金利益	458	457	1		
役務取引等利益	70	70	0		
その他業務利益	5	4	1		
経費（除く臨時処理分）	385	376	9	384	8
コア業務純益	148	155	7	160	5
信用コスト	36	12	48	61	49
有価証券等関係損益	33	50	83	0	50
経常利益	226	97	129	106	9
中間純利益	189	81	108	88	7

3. 主要勘定残高(北洋銀行)

- ・資金量未残は法人預金および個人預金が増加し、6兆9,553億円と前年比1,696億円の増加となる見通し。
- ・預かり資産未残は8,040億円と前年比306億円の増加となる見通し。
- ・貸出金未残は全ての主体向け貸出が増加し5兆5,614億円と前年比3,278億円の増加となる見通し。
- ・有価証券は1兆4,696億円と前年比679億円の減少となる見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円、%)

	H23.9 末 (実績)	H24.9 末 (速報値)		
			前年比	年率
資金量	67,857	69,553	1,696	2.5
預かり資産	7,734	8,040	306	4.0
貸出金	52,336	55,614	3,278	6.3
有価証券	15,375	14,696	679	4.4

資金量 = 預金 + 譲渡性預金

預かり資産 = 公共債保護預かり + 投資信託 + 個人年金保険等 (販売累計額)

4. 金融再生法開示債権(北洋銀行)

- ・金融再生法開示債権は、最終処理の進展等に伴う破産更生等債権の減少により1,728億円と前年比64億円減少の見通し。
- ・開示債権比率(部分直接償却後)は、2.37%と前年比0.24ポイント改善の見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円、%)

		H23.9 末 (実績)	H24.9 末 (速報値)		
				前年比	
	破産更生等債権	641	578	63	
	危険債権	817	814	3	
	要管理債権	333	336	3	
金融再生法開示債権		1,792	1,728	64	
(開示債権比率)		(3.35)	(3.04)	(0.31)	
	部分直接償却後	1,389	1,339	50	
	(開示債権比率)	(2.61)	(2.37)	(0.24)	

当グループでは部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

開示債権比率 = 金融再生法開示債権 ÷ 総与信 × 100

5. その他有価証券の評価損益

- ・北洋銀行の有価証券の評価損益は473億円と平成24年3月末対比で135億円減少の見通し。

【北洋銀行】

(単位：億円)

	H24.3 末 (実績)	H24.9 末 (速報値)	3月末比
その他有価証券	608	473	135
株 式	189	221	32
債 券	273	238	35
その他	146	13	133

<ご参考>

	H24.3 末	H24.9 末	3月末比
日経平均株価 (円)	10,083	8,870	1,213
新発10年国債利回り (%)	0.985	0.765	0.220

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社北洋銀行経営企画部 津山・谷 TEL 011-261-1315

業績予想ならびに速報値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想等であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な原因によりこれらの業績予想値等とは異なる可能性があります。